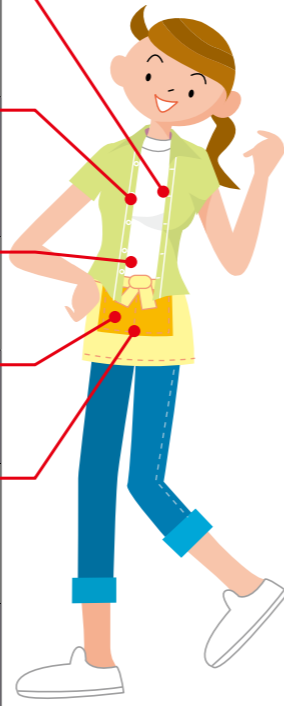
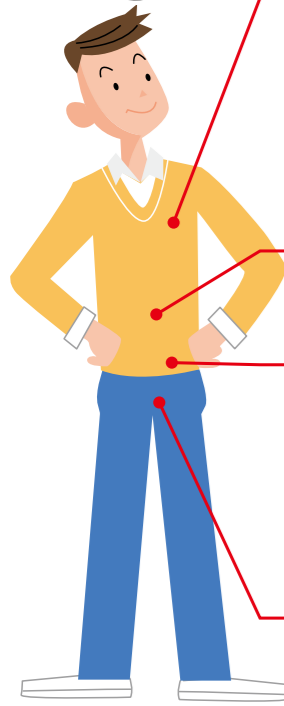


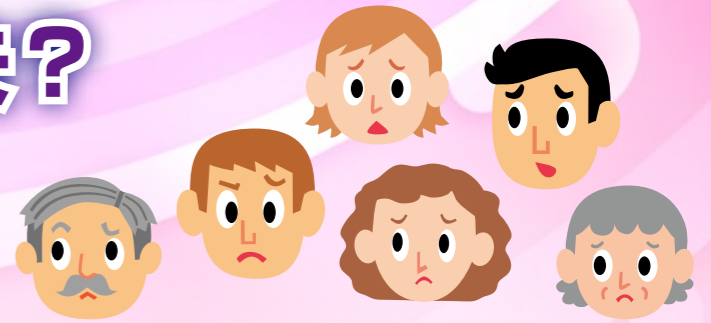
11月末まで申し込みを受け付けます

可児市で実施している検診

検診名	検診の内容	料金（個人負担金）	対象者
肺がん検診	X線撮影、喀痰細胞診（長期喫煙者など）	X線 700円 喀痰 500円	40歳以上
乳がん検診	X線撮影、視触診	1,500円～1,800円	40歳以上で前年度に市の乳がん検診未受診の女性
胃がん検診	レントゲン撮影	直接撮影 2,000円 間接撮影 1,000円	40歳以上
大腸がん検診	便に血が混じっていないか調べる	500円	40歳以上
子宮頸がん検診	視診、内診、細胞診（子宮の入り口にできる頸がんを調べる）	1,000円	20歳以上で前年度に市の子宮がん検診未受診の女性
前立腺がん検診	採血（注射で血液を採ります。特定健診、肝炎ウイルス検診と合わせて検査できます）	700円	50歳以上の男性



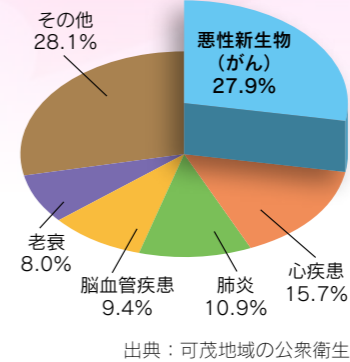
がん検診、受けなくてホントに大丈夫？



がんは国民病

がんは日本人の死因の第1位です。がんによる死亡者は年々増え続け、平成25年には全死亡者126万8000人中、36万4000人に達しており、約3割を占めています。可児市でも死亡原因の1位となっており、死亡者の約3割ががんです。

可児市の主な死亡原因 (H25)

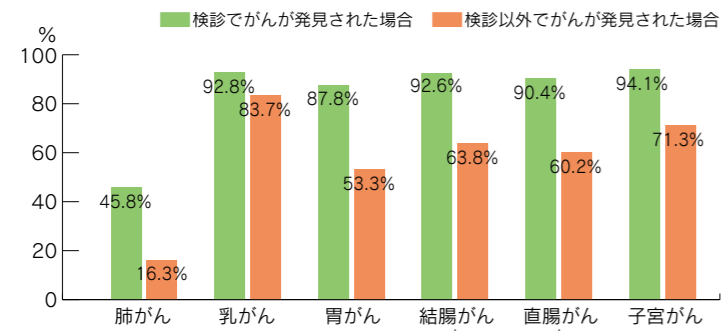


出典：可茂地域の公衆衛生

若くてもがんになる

がんは年齢が高くなるほどかかりやすくなると言われています。がんは診断された人のうち、男性は約7割、女性は約6割が65歳以上です。しかし最近では、40代以降でがんにかかる人が増えています。また子宮頸がんは若い女性がかかりやすく、20代でかかる人が急激に増えています。がんは、誰でもかかる可能性のある病気になってしまっています。

がんと診断された人のうち、5年後も生存している割合



出典：がんの統計'05

早期発見、早期治療

がん検診は、症状が出る前にがんを見つけることができ、自分や家族の死亡率を減少させる確実な方法です。早い段階でがんを発見し治療を始めれば、それだけ完治する可能性が高くなります。検診により早くがんを見つけることで、その後の生存率に大きな差が出ることもわかっています。自分のためだけでなく、家族のためにも、定期的ながん検診を受けましょう。

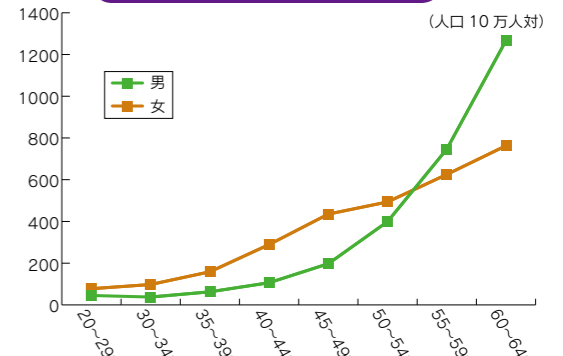
ホントに「大丈夫」？

検診を受けていない人に理由を聞くと、「自覚症状がないので」受けなく

検診受診率

がんによる死亡者は増えていますが、がん検診の受診率は全国的に低いのが現状です。市のがん検診の受診率は少しずつ増えています。しかし、全国の受診率と比べると低い数値で、まだ多くの人が検診を受けていない状況です。

年代別 がんにかかる率 (H23)

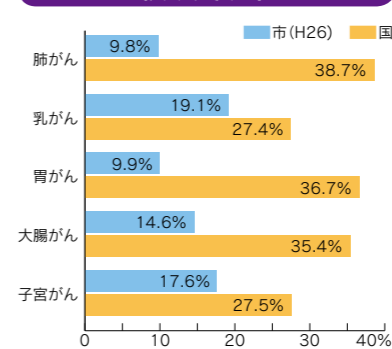


出典：国立がん研究センターがん対策情報センター

がん検診の申し込みは簡単

がん検診は、お勤めの場合は職場で、それ以外の人は市町村が実施する検診を受けます。市の検診対象者には、2月末に申込書が届きます。希望する検診など必要事項を記入し、同封の返信用封筒で返送するだけで、手続きは完了です。後日、医療機関から日程などの案内が届きますので、忘れずに受診しましょう。

検診受診率



出典：平成25年度国民生活基礎調査 可茂地域の公衆衛生

早期発見の効果

がんを早く見つけて早期に治療できれば、次のような効果が期待できます。

- 放射線治療、薬剤治療など治療期間が短くなります。
- 治療・入院が短くなり、経済的負担も少なくなります。
- 手術が簡単に済みます。
- 治療後の日常生活にも影響が少なくなります。
- 家族への負担も少なく、職場への復帰が早くなります。

がん検診は安心への投資

がん検診は、市が費用の一部を負担しており、個人負担が少なく済みやすいです。最も高い胃がん検診でも、費用は2000円。検診を受け、自分や家族の健康状態を確認するのは、決して高い投資ではありません。

また子宮頸がん・乳がん・大腸がんなど、国と市が費用を負担し、無料で受診できる検診もあります。対象者には送付した申込書に無料クーポン券がついてきますので、この機会にがん検診を受けましょう。

問合せ 健康増進課